

## 量子ビーム応用医工学研究室

卒業生の皆さま、お元気でしょうか？

当研究室では、陽子線治療を中心テーマに据え、医工連携のもとで日々さまざまな研究に取り組んでいます。医学物理という分野では、国内では保健学科系の研究室が多数を占めるなか、私たちは数少ない理工学系の研究室として活動しています。臨床的な視点に加え、治療機器の開発にも関わる幅広い技術的知識を活かしながら、北大病院（教員は医学物理部を兼任）とも連携し、現場に役立つ研究を進めています。

2025年度は、松浦教授をはじめ、宮本准教授、高尾准教授（医理工学院担当）、陳助教、そして横川助教（兼任）といった頼もしいメンバーで、充実した指導体制のもとで研究が進められています。

学生は、博士後期課程1名（医理工学院1名）、修士課程13名（工学院10名、医理工学院3名）、学部4年生5名と、研究室はますますにぎやかになっています。それぞれが専門分野で真剣に取り組む一方、全体ゼミでは活発な議論が飛び交い、知識やアイデアを共有する場として活気にあふれています。

今年度も全員が無事に進学・就職を果たし、研究室の団結力と頼もしさをあらためて感じる一年となりました（写真は、2025年度メンバーでの卒業・修了式一枚です）。研究者・医学物理士として研究機関や他大学へ進んだ修了生や、医療機器メーカーに就職したOB・OGの皆さんとも学会などで再会する機会が増え、卒業生ネットワークの広がりを実感しています。

札幌にお越しの際は、ぜひ気軽に研究室に遊びに来てください。皆さまの元気な姿と近況を聞けるのを、研究室一同、楽しみにしています！

